



# Via Latina 22

2022年5月 310号

## 総本部よりのお知らせーマリア会

### フランス地区長の任命

総長評議員会は、3月29日の会議で、新しいマリア会フランス地区の初代地区長を任命するためフランス管区で行われた意見聴取の結果を吟味しました。



総長は、その評議員会の同意を得て、地区長としてJean-Marie Lederc士を任命しました。彼の最初の5年の任期は2022年8月15日に始まります。Jean-Marie士は信仰の精神と喜んで奉仕する気持ちを持ってこの責任を受諾しました。このような訳で、総長評議員会は彼に大変感謝します。

Jean-Marie士は、教育部長および副管区長として、フランス管区で長い統治経験を積んでいます。また彼は2016年から2021年にかけてヨーロッパゾーン議長としても奉仕しました。意見聴取で顕著だったように、フランス、コートジボアール、そしてコンゴの3つの行政単位の地域と人々についての彼の経験と知識は、彼がそれらをフランス地区全体の奉仕に生かすことが出来る真の財産です。

評議員会は任務を離れるチーム、すなわち、管区長Hervé Guillo du Bodan士と副管区長Jean-Edouard Gatuingt師、そして管区長評議員全員に、過去5年間に渡る任務遂行に対しても同じく感謝したいと思います。



## 2021～2022年 マリア会教育事業の統計

私たちは皆さんに2021-2022学年度のマリア会の正規教育事業に関する統計データを提供出来ることを嬉しく思います。Covid-19に係る諸々の制限と困難さは過去2年間、少なからず情報収集に混乱をもたらしましたが、現在はそれを乗り越えたように思われます。お蔭様で、私たちの教育施設での仕事はある程度の平常化に戻りつつあります。私たちの教育施設に増々の活力と以前の生徒数回復を可能にした不屈の決意と忍耐について、全マリアニスト教育共同体に感謝します。前回の総計発表から、新たな2校がスペインのマリアニスト学校のネットワークに現れました。私たちのスペインマリアニスト姉妹たちはこのネットワークに単独の学校ネットワークで私たちの兄弟に合流しました。この結果、私たちの正規教育施設は全体で100になります。

行政単位	学校数	生徒数	教員数	マリア会 会員数	管理職	奉獻者数
アルゼンチン	5	6631	856	6	25	6
チリ	6	6140	302	3	194	10
コロンビア エクアドル	2	3201	191	7	11	12
東アフリカ	9	4892	230	13	47	38
スペイン	20	24339	1779	22	233	79
フランス	10	11138	773	9	412	24
コートジボワール	2	2878	125	10	23	13
イタリア	1	770	72	0	3	6
日本	4	5951	485	1	63	10
韓国	1	483	4	1	5	4
メリバ	3	4850	287	24	34	30
オーストリア	3	2400	226	0	20	3
ペルー	4	5540	395	0	88	4
トーゴ	3	1478	107	23	20	23
USA (大学以外)	17	11239	916	8	366	29
USA (大学)	3	17157	1126	6	632	47
USA (合計)	20	28396	2042	14	998	76
インド	7	2751	124	29	18	31
<b>マリア会合計</b>	<b>100</b>	<b>111838</b>	<b>8041</b>	<b>162</b>	<b>2194</b>	<b>369</b>

このネットワークは全ての教育のレベルをカバーしています：幼稚園(42)、小学校 (56)、中学校 (88)、技術専門校 (3)、そして大学 (3) です。幾つかの事業体は男女共学 (83)、他は男子専門 (16)、或いは女子のみ (1) で、これらの中25が学生寮を提供しています。非正規の教育組織とそれらの職員の数は、カウントが容易でないため、この統計には含まれていません。それでも、これら非正規の教育組織は重要で意義深いものです。

更なる情報は私たちのwebsiteで入手してください：[www.marianist.org](http://www.marianist.org) ここから皆さんはpdfでマリア会教育事業の統計名簿の電子バージョンをダウンロード出来ます。

---

## Peter A. Pontolillo, SM -- 1939-2022



2022年4月12日、マリア会は私たちの親愛なる兄弟Peter A. Pontolillo士の死去の悲しいニュースを受け取りました。それは特に総本部の皆さんにとって身を切るような悲しいニュースでした。なぜならPeter士は長年に渡り総本部共同体で任務を果たしてきた常連だったからです。数年に渡り彼と一緒に生活した人、あるいは一時的に単にVia Latina 22にて出会った人を問わず、彼の思い出は各々の記憶にいつまでも残っています。

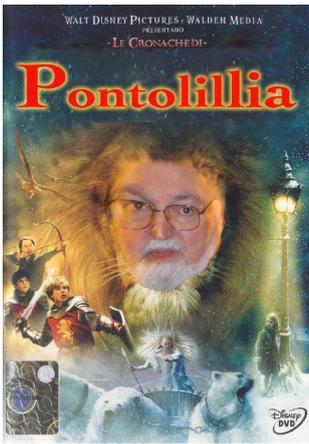
Peter Pontolilloは総書記として奉仕するため1997年ローマに来ました。彼は10年以上この任務に就いていました。

この期間、彼は院長としても共同体に奉仕しました。総書記として、彼は総本部の機能改善にコンピューター技術を導入して、総書記局を変容させました。彼はこのVia Latina 22の発行を含むコミュニケーションの面で多くの新しい手段を導入しました。

彼は多岐に渡る会議と計画の実用的な面を纏め上げ、膨大な資料の翻訳、配布、そして整理保存に取り組みました。



しかし、非常に忘れがたいのは彼の仕事だけではありませんでした。単にそこにいるだけで、その揺るぎない自信によって、その間断なく出てくる腹の底からの笑いによって、彼自身が忘れ難い人でした。彼はよく笑いましたし、しばしば自分自身のことを笑い飛ばしました。また彼は、歌い、物語をし、中でも週末にビデオで映画をみるのが好きでした。金曜夜の上映と土曜日から日曜日の昼間上映を含み、週末には数回、しばしばシャミナード部屋で映画上映を行っていました。共同体のメンバーは彼を“Emperor 皇帝”と呼んでいました、なぜなら彼はどんな集まりでも非常に打ち解けてその座長を務めていたからです。かれはこの呼び名がお気に入り、それを名誉の印のように喜んでいました。



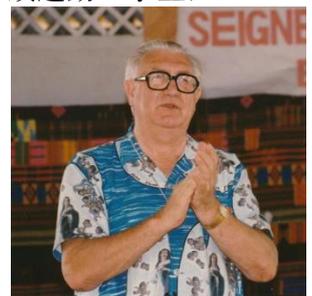
2006年彼がアメリカに戻る直前の歓送会で、共同体は彼にユーモアに富んだ幾つかの記念品を贈りましたが、その中に彼の好きな映画、C.S. Lewisによる「Narniaの年代記（物語）」のDVDがありました。しかしDVDケースの表紙がデジタル処理で変えられており、Peterの顔がヒーローとなっていました。そしてそのタイトルが「Pontolilliaの年代記」に変わっていました。彼は大笑いし過ぎて、卒倒するのではないかと私たちが心配するほどでした。

笑いはPeter士に与えられた特別な贈り物でした。彼の笑いは軽薄さからくるものではなく、むしろ心からの喜びから生まれるものであり、たとえそれが彼自身に関するものであったとしても、上質のジョークを理解することからくるものでした。彼はまた忠実な修道士であり、聖母マリアおよび彼女の「小なる修道会」であるマリア会に生涯を捧げました。私たちは彼が今、物語をし、また勿論、心から笑いながら、天の祝宴を楽しんでいるPeterを想像できます。

Peter、安らかに休んでください！

## Raymond Halter (1925-1998)

1つの霊的体験、すなわち聖霊におけるいのちの恵みが、Raymond Halterの生涯を特徴づけました。Raymond は、1942年の初誓願および1957年7月14日の司祭叙階の後、様々な宣教活動に従事しました。1964年にボルドーの学生の指導司祭になりました。1972年に彼は自動車事故に遭い、ほとんど目が見えなくなり、その結果、彼は自分の活動を縮小せざるを得なくなり、祈りにより多くの時間を取るようになりました。彼が毎週神のみ言葉を分かち合っていた30名程の教会一致運動の学生グループは、この分かち合いをもっと深め、一緒に祈ることを望みました。彼の生涯を特徴づけたその霊的体験は、1973年1月6日と7日の週末に起きました。その週末のテーマは、“聖霊は私たちが神の子供であることを私たちのところに証ししてくださる”(Rm. 8:15-17)でした。夕べの祈りの間に、カリスマの働きが現れ始め、Raymondは真の回心を体験し始めましたが、その時はカリスマ刷新運動には詳しくはありませんでした。数か月後にやっと彼はこの運動に気付くことになるのです。



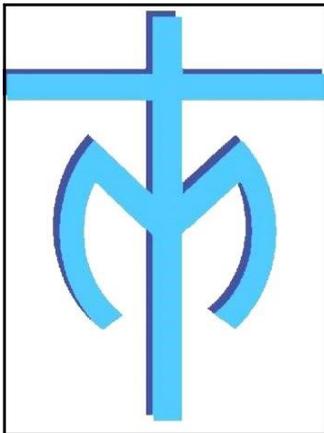
1979年に、フランスの管区長は霊的癒しを目的とするカリスマ刷新運動奉仕にRaymondを就かせました。こうして、彼はフランスでは数多くの集まりを主導し、カナダでは養成トレーニングや調停を行い、そしてアフリカの数か国から招かれました。徐々に、彼は霊的癒しと解放の恵みを授かり、黙想会や大きなカリスマ集会でその恵みを発揮しました。

彼がこの活動に全面的に献身したのは、1人のマリアニストとしてでした。マリアと共に、彼は霊的癒しの黙想会を主導しました。1989年に、アビジャンの国立マリア聖地で、彼はその地の共同体と

共に、マリアへの奉献を提案しました。

Raymond Halterについて感謝しましょう。彼の執り成しによって恵みを願うのを躊躇わないようにしましょう。間もなく彼の列福調査の開始のための教区プロセスが始まる事を、私たちは期待しています。

## 5月15日 ローマで列聖されるシャルル・ド・フーコーとともに祈りましょう



Mon Père,  
Je m'abandonne à toi, fais de moi ce qu'il te plaira.  
Quoi que tu fasses de moi, je te remercie.  
Je suis prêt à tout, j'accepte tout.  
Pourvu que ta volonté se fasse en moi, en toutes tes créatures,  
je ne désire rien d'autre, mon Dieu.  
Je remets mon âme entre tes mains. Je te la donne, mon Dieu,  
avec tout l'amour de mon cœur, parce que je t'aime,  
et que ce m'est un besoin d'amour de me donner,  
de me remettre entre tes mains, sans mesure,  
avec une infinie confiance, car tu es mon Père.

イエスの小さい兄弟 シャルル・ド・フーコー

### 最近の総本部通信

- 計報：11-16号
- 4月1日：シャミナード国際神学校に関する視察訪問の報告書 霊生局長、Pablo Rambaud師から3か国語で行政単位責任者とゾーン会議議長あてに送付
- 4月9日：養成計画と会議についての案内 霊生局長、Pablo Rambaud師から3か国語で行政単位責任者と霊生部長あてに送付
- 4月19日：総指導者会議、および発展中の行政単位上長との会議、総書記、Kodjo Frédéric Bini士から3か国語で行政単位責任者とゾーン会議議長あてに送付

### 総本部日程

- 5月4日～5月21日：総長評議員会が日本地区へ視察訪問
- 5月25日～5月27日：総長André-Joseph Fétis師がイタリア、ローマで開催されるUSG（総長連合会）の会議に出席
- 5月30日～6月5日：総長André-Joseph Fétis師と霊生局長Pablo Rambaud師がラテンアメリカ地区の創設の機会にペルー訪問